










平成29年度治山・林道工事コンクール表彰工事一覧表

林野庁長官賞

| 部門名 | 署等名  | テーマ名  | 工事名              | 主な工事概要                          | 受賞者氏名   | 優秀工事決定のポイント  | 工事写真等   |
|-----|------|-------|------------------|---------------------------------|---|--|---|
| 林道  | 山口   | コスト縮減 | 滑山林業専用道34林班線新設工事 | ・林業専用道新設760m                    | (株)井原組<br>主任技術者 奥野 幸巳<br>監督職員 井上 正人                   | ・ふとんかご工の中詰材を掘削(軟岩(Ⅱ)及び中硬岩)において出た残土から、選別を行いふとんかご工の詰石として利用していること。(当初は購入材としていた)<br>・木製路面排水工の設置箇所については、湧水及び路面水を考慮して設置を検討して、将来に渡っての維持管理費のコストの低減に取り組んでいる。  |     |
| 治山  | 三重   | 技術提案  | 鍛冶屋又溪間工事         | ・鋼製スリット谷止工<br>・コンクリート床固工        | (株)岡本組<br>主任技術者 脇 勇磨<br>監督職員 山本 雅志                    | ・掘削及び降雨時の濁水対策として、シルトフェンス、大型土のう及び転石による空積で堰を何重(第1号コンクリート床固工の上流450m・下流170m区間において100m毎に設置)、にも配置することにより、濁水の軽減を図ったとともに、工事支障木以外の立木の幹周りの養生をしっかりと施し、環境の保全に努めた。<br>・治山ダム工2基の袖部を巨石積により保護し、溪間工としての機能の維持・向上を図っていることは、契約図書に定めていないことであり評価できる。<br>・コンクリートボリュームが多いなか、それぞれの工程において丁寧な施工がなされており、構造物等の出来・見栄えも良好である。         |     |
| 治山  | 京都大阪 | 環境配慮  | 銀閣寺山山腹工事         | ・木製校倉式土留工<br>・木製枠筋工<br>・植生マット伏工 | (株)野村造園土木<br>主任技術者 石本 征之<br>現場代理人 藤木 鴻佑<br>監督職員 上田 正幸 | ・植栽木の生育に好ましい土壌に改良するため、受注者の自主対応により土壌改良材を混合し植栽木の生育の向上に努めた。<br>・施工中に発見された危険植物について、登山者へ周知を行う等歩行者の安全に努めたとともに、登山道の迂回路となった仮設道の清掃等、目配り気配りが行き届いている。<br>・世界遺産に登録されている銀閣寺に近接する箇所であるとともに、京都市の風致地区にも指定されているため、特に景観・環境に配慮する必要があった。また、大文字山への登山道があり入山者が多い場所である。そのため、本工事により撤去の必要が生じた丸太を水路工資材として再利用し、景観及び環境に配慮した施工が行われた。 |   |

森林管理局長賞

| 部門名 | 署等名 | テーマ名 | 工事名            | 主な工事概要     | 受賞者氏名                     | 優秀工事決定のポイント   | 工事写真等   |
|-----|-----|------|----------------|------------|---------------------------|---|---|
| 治山  | 兵庫  | 技術提案 | 桑ヶ仙山腹工事(ゼロ国債)  | ・簡易吹付法枠工   | 株本建設工業(株)<br>代表取締役社長 株本 寛 | ・急峻で岩塊や径の大きい礫がある斜面のため、礫等の崩落が度々確認されていてその度に、直下の町道に被害を与える状況下であった。このため、山腹斜面整地後に侵食防止剤を散布することで、斜面の固結化を図り、安全かつ効率的に作業を進めることができた。<br>・厚層基材の吹付厚を管理するスペーサーについて、施工後3～5年で水と炭酸ガスに分解される製品を採用したことで、環境配慮に繋がった。   |   |
| 治山  | 広島  | 環境配慮 | 高松山B-1地区災害復旧工事 | ・コンクリート谷止工 | (株)斉藤組<br>代表取締役 斉藤 哲也     | ・大型車の資材運搬路(市道)通行による砂塵飛散防止のための散水、積雪時の道路凍結融解のための塩化カルシウム散布等、運搬路通行の確保を図ったことにより、地域への貢献に繋がった。また、大型車の通行により傷んだ箇所は確実に補修するとともに、コンクリート横断溝を渡る際の騒音対策としてゴムマットを敷設する等の配慮が見られた。<br>・典型的な都市部近郊における災害であり、施工時における掘削及び降雨時には必ず濁水が発生し、直下の畑や市道、家屋に流出するおそれがあったことから、沈砂池を設置し泥流を軽減する努力を行い水環境への配慮を行った。 |   |